



ふくしま ひろよし
福島 弘芳 (71歳)

プロフィール

1945年木造林生まれ。日本大学理工学部卒。旧木造町議7期、議長、助役を経て2003年4月に旧木造町長に就任。05年初代つがる市長に就任、現在4選目。

みんな 家族が安心して暮らせる

つがる市の実現へ



つがる市長 **福島 弘芳**

任期満了に伴うつがる市長選挙が2月19日に告示され、現職の福島弘芳氏が無投票で4度目の当選を果たしました。

2月27日、当選証書付与式が市役所で行われ、成田照男選挙管理委員長から福島氏に当選証書が手渡されました。任期は平成29年3月13日から33年3月12日までの4年間です。

市政の舵を取る福島市長の思いをお届けします。

1

福島市長の4期目への決意

私は、これまでの取り組みを基盤とし、4期目の具体的な取り組みとして、次の6つ政策を柱にまちづくりを進めていきたいと考えています。

農産物のブランド化を推進 した、所得の向上

本市の基幹産業が農業であることから、農家所得向上のため、農産物の「ブランド化」・「6次産業化」を引き続き進めてまいります。

農産物の付加価値と競争力を高め、安定した経営基盤強化を目指し、若者が農業を魅力ある職業として選択することで、農業従事者の高齢化や後継者不足の解消に繋がるものと考えています。

今後も、JAなど生産団体の支援や、新規就農者、認定農業者など意欲ある担い手の育成に取り組んでまいります。

併せて、道の駅拡充による地産地消を推進し、販売力向上に努め、ブランド化のさらなる推

2

安心して子どもを産み育て られる環境づくり

少子化は本市においても例外ではなく、核家族や女性の社会進出の増加により、安心して子どもを産み育てることが困難な状況になりつつあります。

育児にかかる負担も増大しており、負担軽減のため、いち早く中学生までの医療費を無料化する「こども医療費全額助成」を実施しております。

これに加え、新たに保育所等の第2子以降完全無料化や、中

進と販路拡大のためトップセールスを継続し、本市の魅力を「つがるブランド」として発信してまいります。



当選証書を受け取る福島氏

世界文化遺産で誇れる文化 観光の推進

学生までのインフルエンザ予防接種無料化など引き続き市独自の支援事業を展開してまいります。

また、将来を担う子どもを安心して産み育てられる環境づくりを推進してまいります。

本市の亀ヶ岡遺跡と田小屋野貝塚は、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産として、平成29年度のユネスコ推薦、および31年度世界遺産登録に向けて、4道県関係市町が連携協力して取り組みを進めています。

国民共有の財産である文化遺産を次世代へ継承していくことは、ここに住む者の務めであり、文化活動をはじめ、教育や観光などのまちづくりの資源として育ててまいります。

今後も文化財の適切な保護と文化観光の拠点整備を進めるなど、市民が誇れる文化の薫り高いまちづくりを推進してまいります。

生涯学習と文化とスポーツ を育むまちづくり

今、健康や体力づくりへの関心が高まっており、生涯学習・スポーツに触れる機会の充実が求められています。

子どもから高齢者まで、さまざまな世代の市民が、生涯にわたり健康づくりから本格的な競技に至るまで、多様なスポーツやレクリエーションなどを親しむことができる環境を構築する必要があります。

スポーツと文化活動を通じて、多くの市民の交流を促進する地域コミュニティの拠点として、本市の新たなシンボルとなる総合体育施設の整備に取り組んでまいります。

老後も安心して暮らせる福祉のまちづくり

本市の65歳以上の高齢化率は平成28年度において33%を超え3人に1人が高齢者という状況に加え、核家族化が進み、ひとり暮らしや高齢者のみの世帯が年々増加しています。今、高齢者の皆さん一人ひとりが住み慣

商工農が連携したふるさと創生

れたつがる市で自分らしく元気に過ごし、安心して暮らせる地域を目指して、「住まい・医療・介護・予防・生活支援」が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を進めているところです。

高齢者の皆さんが元気で過ごせる期間ができるだけ長く、生き甲斐を持って生活できるよう、さまざまな関係機関と連携を強化するとともに、各種団体の地域活動を支援してまいります。

また、高齢者が必要に応じた適切なサービスが受けられるよう、多様なサービスを充実させ、介護保険事業の基盤整備を促進し、在宅医療・介護連携の推進を図ってまいります。

商業については、既存商店街が衰退し、空き店舗など中心商店街の空洞化が進んでおり、地域づくりの観点からも活性化が求められています。

工業部門におきましては、企業誘致をはじめ地場産業や起業を目指す人への各種支援事業を

加速してまいります。

本市の農業振興を進め商工業の活性化に繋げるためにも、本市の強みである農産物を活かしたブランド加工品開発と販売の支援・強化に取り組むことで地域ビジネスとしての6次産業化を推進してまいります。

これら6つの柱を軸に、未来を担う子どもたちへ、先人から受け継いだこの素晴らしい大地と自然豊かなふるさとをしっかりと残すため、さらには、すべての市民がこのつがる市に生まれ暮らして本当に良かったと心から実感できるまちづくりのため、引き続き全身全霊を傾けていく覚悟でありますので、市民の皆さまのご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

